

## 「SDGs 達成のための ESD 担い手育成事業」2019 年度が始まりました



(特非)環境パートナーシップちばは、千葉県内の環境保全(学習)などの担い手不足解消や、2030 年までの SDGs 達成に向けて、持続可能な多様な視点を取り入れた環境学習プログラム(ESD(Education for Sustainable Development)プログラム)が必要であると考え、2018 年度からの3年間事業として「SDGs 達成のための ESD 担い手育成事業」を、地球環境基金の助成を受けて、スタートしています。

1 年目は、県内で主に環境学習に取り組んでいる団体(個人)に声をかけ、ESD プログラム作りを通して、ESD 地域リーダー(13 名)が誕生しました。成果は「ESD プログラムガイドブック」として取りまとめました。

また、多様な主体(中間支援的な活動団体)16 名が参加し、ESD 地域リーダーが活躍するための場(プラットフォーム)づくりについて協議しました。

ニュースレターは、SDGs、ESD や事業報告など 4 回発行しました。

2 年目(2019 年度)は、1 年目の成果を基に、千葉県内の北部地区を対象にスタートしました。事業内容は以下になります。

### ■ESD地域リーダー育成事業(船橋地区・成田地区の 2 地区で実施)

ESD プログラム作りを通して、ESD 地域リーダーを育むことを目的に、団体活動で環境学習等を担当している方を募集した結果、船橋地区(8 名)、成田地区(7 名)でスタートしました。

ファシリテーター:石井雅章氏(神田外語大学言語メディア教育センター長准教授)

	主な内容	船橋地区	成田地区
第 1 回	ESD の視点とは、地域の課題解決と ESD プログラムの紹介	7 月 14 日(日)	7 月 22 日(月)
第 2 回	ESD プログラムガイドブックを活用した ESD プログラム作成	9 月 15 日(日)	9 月 30 日(月)
第 3 回	ESD プログラムブラッシュアップ・報告	11 月 24 日(日)	11 月 11 日(月)

### ■SDGsを進める ESD プラットホームづくり(千葉市周辺で実施)

ESD地域リーダーが活躍できる場づくりを目指すことを目的に、関心のある団体に募集した結果、26 名(1 年目参加者も含む)の申し込みがありました。

ファシリテーター:石井雅章氏(神田外語大学言語メディア教育センター長准教授)

	主な内容	千葉市内
第1回	「SD の重要性とプラットフォーム」他	7 月6日(土)
第2回	プラットフォームに期待するもの、あるべき姿、必要な機能	10月7日 (月)
第3回	プラットフォームの運営の在り方について	2月3日(月)

※SDGs 公開セミナー2 回開催 SDGs や ESD についての周知と交流を目的に開催。

1 回目:7 月 6 日(土)午後 会場:千葉県教育会館本館

2 回目:11 月 16 日(土)午後 会場:千葉市生涯学習センター

■ニュースレターは年 4 回(5 月・8 月・12 月・2 月)発行